いわて未来づくり機構だより

平成25年度
第 4 号
発行日 平成 26 年3月 31 日

いわて未来づくり機構では、平成24年度から3ヵ年を、機構の第2フェーズとして、オール岩手による復興と未来づくりにつながる県民運動を力強く推進しています。平成 25 年度は、第2フェーズの中間年に当たり、復興を加速させる年でもあります。会員各位の一層の御協力をよろしく願いします。

会員の皆様には、益々御清栄のこととお喜び申し上げます。「いわて未来づくり機構」は、皆様の御支援・御協力を賜り、設立より６年目を迎えることができました。本号では、去る３月 17 日に開催された平成２５年度第３回ラウンドテーブルを中心にご報告いたします。

事業報告

平成 25 年度 **第3回ラウンドテーブル**

平成 26 年３月 17 日（月）、岩手銀行本店会議室において、**平成 25 年度第３回ラウンドテーブル（ＲＴ）を開催**しました。

今回は、各部会の平成 25 年度の活動評価と平成 26 年度の活動計画、いわてのあるべき姿の実現に向けた県民運動の推進、等について議論がありました。

また、岩手大学を退職される**藤井克己岩手大学長から、ラウンドテーブルメンバーを退任される旨の御発言があり、承認**されました。

議題１ 各部会の平成 25 年度の活動評価と平成 26 年度の活動計画等について

各座長から報告の後、所管組織のラウンドテーブルメンバーから総括コメント、決意表明等がありました。
なお、観光作業部会はH25 年度で活動を終了することになりました。

部会名	所管組織	H25 主な活動成果	H26 主な活動計画
産業復興	岩手大学	各組織の復興支援事業を HP で公開	CD の組織化等について検討
医療福祉	県立大学	医療・福祉連携策のモデル構築	産学官研究会による政策提言
かけ橋	岩手県	復興支援マッチング 132 件、502 箇所実施	首都圏企業訪問等による支援の掘り起こし
観光	商工会議所連合会	H25 で活動を終了	
イニシアティブ	岩手銀行	未来創造塾、未来創造フォーラム実施	卒塾生への支援、第２期未来創造塾実施
復興教育	岩手大学	復興教育講師派遣プログラムの取りまとめ	復興教育講師「いわての師匠」派遣

議題２ いわてのあるべき姿の実現に向けた県民運動の推進について

企画委員会で検討した H26 年度に機構が推進する県民運動の内容や役割分担等について、ラウンドテーブルメンバーが議論を行い、一丸となって取り組んでいくことが決定しました。
また、各組織がそれぞれ H26 年度に重点的に取り組む活動についてラウンドテーブルメンバーから説明があり、他の組織においても連携して取り組むなど、機構の特徴を活かした活動が展開されていくこととなりました。

★平成 26 年度に取り組む県民運動

取組項目	目指す姿
希望郷いわて国体・大会の開催に係る協力	H28「県民総参加」による国体・大会の実現、競技力の向上
ILCの建設実現に向けた取組	ＩＬＣの建設実現
台湾との定期便の就航	経済文化等の交流の促進、定期便の就航
「平泉世界遺産の日」(6.29) に関する取組	平泉文化遺産の理解促進、将来世代への継承　など

県民運動については、後日改めて会員にお知らせします。

なお、ＲＴの概要及び資料は、機構のホームページから御覧ください。

【東北未来創造イニシアティブ作業部会】

◎ 第1期未来創造塾の卒塾式を開催

塾長である社団法人東北ニュービジネス協議会会長の大山健太郎氏、副塾長でＲＴメンバーでもある高橋真裕岩手経済同友会代表幹事、米谷春夫㈱マイヤ代表取締役社長など関係者の出席のもと、**平成 26 年３月１日、２日の両日、釜石市と大船渡市において第１期未来創造塾の卒塾式を開催**しました。

平成 25 年８月 25 日の開講以来、釜石市、大船渡市を中心とした計 22 名の方が、事業の再建・拡大と挑戦、さらにその先にある地域の未来の創造に向け、自身の想いやビジョンを反映させた事業構想を練り上げてきました。

卒塾式では１人１人がそれぞれの想いが込められた構想を力強く発表していくうちに、会場は大きな感動と「この地域の未来を創っていく」という一体感に包まれていました。

未来創造塾は、平成 26 年度も２期生を募集し継続して開催する予定です。

http://tohokumirai.jp/

検索	東北未来創造イニシアティブ

【復興教育作業部会】

◎ 復興教育に係る講師派遣リストの作成

復興教育作業部会では、県教育委員会の策定した「**『いわての復興教育』プログラム」の各学校での推進を支援していく**ため、機構のネットワークを活かして、各学校で活用可能な復興教育に係るプログラム・講師の派遣リストを作成し、平成 26 年度から各学校で活用してもらうこととしています（**「いわての師匠」派遣事業**）。

まずは、岩手県、岩手大学、岩手銀行など６機関・企業から寄せられたプログラム等を 26 年度当初から各学校に情報提供していきますが、今後、各会員にもプログラムの掲載範囲を広げたいと考えています。

改めて御協力を依頼する予定ですので、よろしくお願いいたします。

http://www.pref.iwate.jp/kyouiku/gakkou/fukkou/index.html

検索	いわての復興教育

情報をご提供下さい

機構では、ホームページなどを活用した、会員・一般向けの**情報発信**を行っています。

会員の皆様において、「イベントを予定している」「周知したいことがある」など、**発信したい情報がある場合は、機構事務局あてご相談ください。**

１年間ありがとうございました

１年間、大変ありがとうございました。平成 26 年度は、機構として県民運動に取り組んでいくことになりました。改めてご連絡しますので、どうぞ御協力をお願いします。

いわて未来づくり機構事務局からのお知らせ

会員各機関の代表者、担当者、メールアドレス等に変更があったら、事務局までお知らせください。

〒020-8570　盛岡市内丸 10-1　岩手県政策地域部政策推進室（担当：鎌田、田山）
電　話：019-629-5215（FAX019-629-5254）　　E-mail：aa0001 @pref.iwate.jp
ホームページ　http://iwatemirai.com/